

主張されている食経験の内容

食経験を安全性評価に活用している制度は、前ページでも紹介したように、個別型病者用食品、組換え DNA 技術応用食品、特定保健用食品、「健康食品」、⑤機能性表示食品の5つである。

このうち、個別型病者用食品と組換え DNA 技術応用食品では、食経験はその有無が問われ、食経験の存在することが安全性評価の前提となっており、ここで取り上げるまでもない。「健康食品」（安全性自主点検認証登録制度）では、記入用シートは公表されているものの、記入内容は公開されていないので調査できない。食経験の内容を調査にできるのは、特定保健用食品と機能性表示食品である。特定保健用食品の記述内容は食品安全委員会の HP に、機能性表示食品の記述内容は消費者委員会の HP に掲載されている。なお、特定保健用食品の安全性評価は食品安全委員会が実施しているけれども、食経験の内容をどう評価したかはほとんど言及がない。したがって、事業者が申請した内容をそのままとめている。消費者庁は機能性表示食品の安全性評価を実施していないので、食経験の内容は事業者の主張通りである。

食経験の対象物質をみると、特定保健用食品も機能性表示食品も関与成分（有効成分のこと）の多いことが指摘できる。関与成分のような単一成分であれば、食経験よりも安全性情報（安全性試験データや危害情報）の方が重要である。食経験が重要となる基原材料は、どちらも少数に留まっている。なお、商品（製品食品や最終製品）も主張されているけれども、違和感がある。その背景には既に販売している商品があるとか、ほとんど同じ商品を特定保健用食品として許可されていることがある。

特定保健用食品では既存添加物を中心に 11 品目で食品添加物であることを食経験があることの理由としている。また、非医リストに含まれていることも同じである。これらを食経験がある理由とすることは社会通念とずれている。

食経験の内容をみると、古くから食べているという例は、特定保健用食品で 6 品目、機能性表示食品で 1 品目にすぎない。そして、時期の記入を求められているのでデータが揃っている機能性表示食品をみると、2000 年以降が過半数を占めており、多くはその販売実績（量）を食経験と主張している。その背景には、上述のように既に販売している商品があるとか、ほとんど同じ商品を特定保健用食品として許可されていることがある。

なお、GRAS リストに含まれていることや JECFA で安全性を確認していることも食経験

とは言い難い。これらは安全性情報である。「特定保健用食品の安全性評価に関する考え方」の不備に起因しているけれども、同時に事業者が食経験を勝手に解釈する風潮を示している。

商品の形態をみると、特定保健用食品では通常食品形態が多いけれども、サプリメント形態も少なくない。特に指摘しておく錠剤形態が7品目となっているが、錠菓形態が2商品ある。これはどこが違うのか不明で、錠菓形態は錠剤形態の糖衣錠だとすると、わざわざ使い分けることに不自然さがある。というのは、錠剤形態やカプセル形態で申請された品目は、その名称で商品化された例はなく、錠菓などとして商品化されている。

機能性表示食品では、サプリメント形態が大部分である。ということは、上で述べた「販売実績（量）を食経験と主張している」対象は、具体的にはサプリメント形態のことである。サプリメント形態の販売実績で食経験を主張できるというのは、健康食品分野の事業者と行政担当者の常識であっても、社会の常識とはずれている。なお、加工食品（機能性表示食品のガイドラインでは加工食品（その他）も3品目含まれているが、飲料ばかりである。そして生鮮食品はこの時点では受け付けられていない。

このように、安全性評価における食経験の活用が進むとともに食経験を勝手に拡大解釈するので、社会通念との乖離が顕著になっている。

<特定保健用食品>（2015年5月1日現在）

食経験の対象

対象品目	品目数
関与成分	46
基原材料	24
含有食品	6
製品食品	13
最終製品	2
配合成分	1

食経験の内容

項目	品目数
食経験の指標	
古くから(100年以上)	6
販売(量)	15

摂取(量)	13
含有(量)	15
食経験を主張	
既存添加物	8
指定添加物	1
食品添加物(区別なし)	2
非医リスト	1
途上国での食経験	4
GRAS リスト	8
JECFA で安全性確認	4

製品形態

対象品目	品目数
通常食品	42
うち、飲料	14
うち、ガム	3
うち、ゼリー	1
顆粒形態	2
粉末形態	1
錠剤形態	7
錠果形態	2
カプセル形態	2

<機能性表示食品> (2015年5月20日現在：受付開始は2015年4月1日)

食経験の対象

対象品目	品目数
関与成分	11
基原材料	2
類似製品(食品)	5
含有製品	1
製品食品	1
最終製品	3
記述なし(空欄)	1

食経験の内容

項目	品目数
食経験の開始時期	
古くから(100年以上)	1
1950年以前	1
1980年以前	0
2000年以前	7
2000年以降	11
食経験の内容(ありとした品目)	
販売実績(量)	17
出荷実績	1
その他	2

製品形態

対象品目	品目数
サプリメント	18
加工食品(注:全て飲料)	3
生鮮食品	0